

呉通信



月刊 No420

2024年9月20日号

KURE BUSINESS NETWORK NEWS

発行:(一社)広島県中小企業家同友会 呉支部
呉市中通 4-4-7 笹兵衛ビル 101
TEL0823-23-9711 FAX0823-23-9141
<https://www.hiroshima.doyu.jp>
編集責任者:広報委員長 白井 健人



2024年8月1日 環境経営勉強会より

子どもたちの未来を守れる社会づくりのために

令和6年度 呉支部方針 《スローガン》

Human First! 新時代へ挑戦~人を生かす経営の総合実践で、企業づくり・未来づくり

🔗 呉支部会員数 **436名** (2024年8月28日現在)
取材先募集中! ご希望の方は広報委員か事務局まで。

《 TOPICS 》

委員会行事報告	2
地区会・部会の報告	3~4
新会員紹介(広東・広北)	5
新会員紹介(呉中央・芸南)	6

※8月行事で開催予定だった支部例会が台風の影響で延期となったため、特別誌面構成となっています。ご了承ください。

《環境経営&地域内連携推進委員会》

子どもたちの未来を守るために

- 開催日 8月1日(木)
- 会場 同友会呉事務所
- 出席者 14名

環境経営&地域内連携推進&政策委員会による合同勉強会を開催しました。

報告者は、(株)プレゼントデザイン代表取締役 川端順也氏(県環境経営委員長/広島東支部)をお招きし「なぜ環境ガチ勢になったのか?」ZEH(エネルギー収支をゼロ以下にする家)が私たちに何たらすメリット」というテーマでご報告頂きました。

川端氏は幼少の頃からモノづくりが好きで、モノづくりをして喜ばれる仕事に就きたいということで建築士を目指したそうです。

大学3年生だった時に阪神淡路大震災を経験。大阪の建築学生だったにもかかわらず、怖くて被災地には行けなかったそうです。

その後、被災地から逃げた負い目を感じつつも神戸で就職。マンション建設の現場監督に。住民の方々からは感謝され、もう決して逃げないことを決意されます。

しかし、一級建築士取得後、ワーキングホリデーで一年間滞在したニュージーランドで2011年2月22日に大きな地震が起きます。そして翌月の3月11日に東日本大震災が発生します。



報告者 (株)プレゼントデザイン 川端順也氏

宮城や福島など現地におもむいて感じたこと「津波には勝てないかもしれないが省エネで貢献できる」と2013年に独立されます。独立当初の経営理念は「持続可能な社会実現に貢献し子どもたちの未来を守る」。川端氏のおぼあ様の言葉で「80年生きてきた人とこれから80年生きる人が出会うことは奇跡だね」とも印象深い言葉でした。この言葉から経営理念が生まれたそうです。

独立後、全国規模の省エネ団体へ参画し、様々な省エネガチ勢と知り合いになります。また、一念発起してデザインを学ぶため通信制の大学院に通い、賞を獲得。しかし、経営の方はギリギリでやっていたそう、環境ガチ勢になってどれだけ「良いこと」をしても儲からないと私自身(家族)が持続可能ではないと痛感したそうです。

プレゼントデザインは顧客へ経済的で快適な暮らしを提供しながら、子どもたちの未来を守る社会づくりに貢献しています。

川端氏の話聴いて、カーボンニュートラルは取り組みやすい会社とそうではない会社があると思いますが、私たち企業も地球環境に興味を持ち考えることが必要だと感じました。

(記) 環境経営委員長
小松石油(株) 小松 弘昌

広報委員会からのお願い

Googleフォームにてアンケート募集中
たくさんのご回答ありがとうございます!



《経営労働委員会》

企業変革支援PGの登録をお願いします

- 開催日 8月9日(金)
- 会場 同友会呉事務所
- 出席者 5名

今回の経営基礎講座は、企業変革支援プログラムの解説と実践のビデオ講義でした。

例年、会員の皆様には登録をお願いしています。(★2024年も引き続き登録をお願いします)

プログラムの登録は自己診断のスタートです。経営基礎講座では自社の成熟度を一歩前進する為、企業変革支援プログラム本来の活用方法を学びました。26項目の中から優先的に取り組みたいカテゴリーから1項目ずつ進めて行くと良いとの事でした。

後半は、このプログラムを本気で真面目に活用する事が「人を生かす経営の総合実践」となる事を、(株)EVENTOSの川中氏(中同協共同求人委員長)の実践報告から学びました。

(記) 経営労働委員長
松栄産業(株) 土井 康弘

《呉南地区会》

世間話の中に

ふとした答えがある

■開催日 8月23日(金)
 ■会場 呉阪急ホテル
 ■出席者 24名

呉南地区会の8月例会は、呉阪急ホテルにて、ビアガーデン納涼例会を行いました。



開会あいさつの様子

天気にも恵まれ24名の参加者が、暑い夏を乗り切る為のエネルギーをチャージ出来るに相応しい例会になったと思います。

当日は高校野球の決勝戦が甲子園球場で行われた日でもあり、時間

地区会長の「同じ夢見る者同士がぶつかり合う姿勢に感動した」という開会挨拶が印象的でした。



「夢見るもの同士」で乾杯

順位は付きましたが、一生懸命取り組み、時に助け合いながら夢に向かう姿は、多くの人に感動と活力を与えてくれます。私は甲子園が終わると、夏も終わりに近づいているなと感じる一人でございます。

暑い暑いと過ごした夏も、終わってしまえば寂しいものがあります。飲食を伴っての例会でございますが、世間話の中にふとした答えがあり、夢を見る者同士、甲子園同様の、充実した時間を過ごさせていただきました。有難うございました。

(記 呉森沢ホテル 株)

森沢 一邦)

《広西地区会》

自社の現状・課題から

どうしていくかを考える

■開催日 8月26日(月)
 ■会場 同友会呉事務所
 ■出席者 12名

今回の広西地区会例会は、今期経営労働委員長を務めて頂いております。松栄産業(株) 代表取締役 土井康弘氏による「経営指針・企業変革支援プログラムの勉強会」を行いました。

土井さんの講義は、まず中小企業家同友会の三つの目的ロングバージョンの唱和から始まりました。私はこの日、初めて三つの目的にロングバージョンがある事を知りました。

それから、「同友会の人を生かす経営」、経営労働委員会の活動などを説明して頂きました。

なぜ経営指針が必要なのか、土井さん自身の経営指針を元に説明していたいただきわかりやすかったです。

後半は、企業変革支援プログラムの説明をしていただきました。自己診断の登録で現状を理解できる他に、企業変革支援プログラムの様々な使い方を教えていただき、これか

らの参考になるものでした。ただ設問に回答するだけではなく、社員の方にも回答してもらおうというのは目から鱗でした。



「目からウロコ」の連続でした

自分の点数とのギャップがある項目が、企業内の問題点・社員との意識の差という活用方法は、参加者全員参考になったのではないでしょう

か。私自身、聞いたことあるけど詳しくはわからないことだらけだったので今回、土井さんに講義をしていただき少し理解ができて、今後自分がどうしていくかを考える良いきっかけとなる例会になりました。

(記 アルサイド工業(株))

佐々木 堅太)

《青年部会》

「コト」を大事に

■開催日 8月22日(木)
 ■会場 ビューポートくれ&zoom
 ■出席者 45名

8月例会は、中原建設㈱と㈱T EGO(「てごう」とは広島弁で手伝うの意味)の両社で代表取締役をされている中原祐介氏に報告をしていただきました。

例会のタイトルに「種蒔き中」とあるとおり、中原さんは、現在、建設業、竹チップの製造販売、まさにアートを増やそうといった多様な事業を展開されています。

このような事業展開に至った背景として、「モノ」だけではなく、「コト」(経験や人とのつながり)の重要性に気付いたことをあげられました。

また、中原さんの報告は、事業の背景やビジネスモデルが、スライド上でも分かりやすく表現されており、各事業がどのように繋がっているのかということも知ることができました。

報告の後は、「あなたは、どう種を蒔いて、どう咲かせたいですか?」というテーマでグループ討論を行いました。それぞれが今どういう行

動をしていて、どうなりたいたのかと
 いったことを話合いました。



報告者の中原祐介氏

事業について、それが成功するか、しないかといった近視眼的な考えをしがちですが、一時点での失敗も「コト」として後の成功につながるかもしれないといった考えで挑戦することが重要ということを実感した例会となりました。

(記クレール法律事務所

平岡 達也)

《昭和地区会々耳より情報》

トイレが快適な 空間になるヒント

支部例会が台風の影響で延期となったため、今回はトイレの掃除に

ついて、「掃除屋」の雑談をしたい
 と思います。

いつも掃除しているのに何か臭う・・・それは汚れが残っているからです。高齢化や多様性によって様式化が進んでいますが、和式と比べると圧倒的に凹凸が多いのが洋式です。まず、捨てる間際のタオル、使う道具はトイレ洗剤・百均で売っているブラシやヤスリ、スポンジ、ヘラなどあれば充分です。



洗浄後です

やはりトイレは素手で磨いてこそ・・・と言いたいですが、洗剤で肌や爪がボロボロになるので手袋は付けましょう。

近付いて見たくないところを見れば凹凸のいたるところが汚れていますので、とにかくヘラを使って狭い隙間も拭いて拭いて拭きまくる。

温水洗浄便座の場合は大抵右側側面にボタンが付いていますので、

押しながら手前に引つ張れば外れます(タンク一体型だと浮くだけのものもあります)。そこが一番汚れているので、鳥肌が立って嘔吐するかも知れません。便座を立てて磨いて脱臭フィルターが付いていれば洗いまししょう。



洗浄ノズルも忘れずに

再セットしたら洗浄ノズルの掃除も忘れずに。ノズルそうじ機能があればノズルが出てきますが、無ければ指で摘んで強制的に出してブラシで擦り洗い。ここまできたら気持ちも晴やかになっているでしょう。

あとは便器内をスポンジで擦って、縁の裏や溜水面周りのシミなどあればヤスリで優しく研いで落としましょう。最後に床に跪いて便器下側を拭けば完成です。これでも匂いがあるなら床・壁の問題になります。皆様のトイレが快適な空間になるヒントとなれば幸いです。

(記 ㈱ゼロワン 川口 厚)

《広東地区会へ新会員紹介》

株田中鉄工所 代表取締役

田中周一 氏の巻

Q 自己紹介をお願いします。

1983年生まれ41歳。出身は吉浦です。地元の大学を卒業後、同社に入社、昨年10月の事業承継を経て代表に就任しました。私で3代目となります。

家族は、まだ1歳の息子と妻で、趣味はゴルフと言っているのですが、最近全然出来ておらず趣味と言えるか怪しい感じです。

Q 事業内容について教えてください

狩留賀町（かるが浜の消防署の先のトンネル手前）にて機械加工品製作と各種製缶品製作をおこなっています。

主要取引先は、三菱重工株式会社殿で、ボイラー部品の製造実績が特にごさいます。設立は、1964年8月で、ちょうど55周年にあたりま



工場内を背景に田中周一氏

す。社員数は14名で頑張っています。

Q 入会のきっかけを教えてください

井村産業㈱ 井村社長からお誘いを受けて昨年の8月に入会しました。

経営者のつながりや、製造業同士の横のつながりが欲しかったので、会社は狩留賀町ですが、広東地区会を選びました。青年部にも所属しており、若くて活発な製造業関係の会員もいるので、何かと刺激やアドバイスをもらっています。

Q 自社のPRをどうぞ

我が社が、得意としているのは50cm角程度の鉄やステンレスの小物の機械製缶加工製作です。何がご用命の際は、ぜひお声がけください。詳細は、ホームページをご覧くださいませ。



追記

田中氏は、10月16日(水)の青年部会10月例会で経営体験報告をします。この記事で興味を持たれた方はぜひご参加下さい。

(取材・文 東部飲料㈱ 白井 健人)

《広北地区会へ新会員紹介》

デントリペアセノ 代表

瀬野 良平 氏の巻

Q 自己紹介をお願いします

1984年生まれ 40歳、呉市出身です。広島商船高等専門卒業、大手運送業を経て、日



新製鋼に勤めていますが、工場閉鎖に伴って独立をしました。車が好きで関係のある業種を仕事にできたらと、施工関係の独立を図っていましたが、デントリペア(凹み修復)の技術と出会い、その道に進む事を決意しました。技術を学ぶスクールに通い、2022年6月に開業し、現在に至ります。

びます。車の凹みを裏側から専用特殊工具で丁寧押し戻すことにより、歪みまでコンロトルしとても早く綺麗に直せるのが特徴です。

Q 大きい凹みより小さい凹みが得意？ 大きいものも可能ですが、塗装割

れの場合があるため要相談となります。最も多い依頼は、ドアパネルの修復です。もちろん他のボンネットやルーフ、前後フェンダーなど場所は問いません。電(ひょう)害に対応する場合もあります。

Q 現在の課題は何ですか？

ターゲットへの認知が低い事です。お客様の入り口はディーラーや板金屋さん等が多いです。こういう技術がある事を周知して頂いて、皆様のお役に立ちたいです。「凹み修理」等のキーワードでSEO対策をしてホームページでの集客を模索中です。

Q 自社PRをお願いします

大事なお車の気になる小さな凹み、フロントガラスの飛び石はまず私に電話を下さい。

丁寧かつ迅速な対応でお伺い致します。



(取材・文 ㈱寺上組 寺上 高央)

《呉中央地区会く新会員紹介》

みずば農園 代表

水場 大輔 氏の巻

自社の事業内容

倉橋町の農業振興地域（水越地区）に所在しています。28歳に事業継承を行い、今年で8期目になります。施設栽培での冬春トマトの栽培を行っています。8件の農家さんと協力し、「お宝とまと」の組合に所属し、広島県内のスーパー、百貨店の棚に置かれています。

また、トマトの栽培終了の時期には夏きゅうりや周年で青ネギを栽培し、従業員さんが継続的に働けるような年間計画を作成し、経営を行っています。



「社長の学校」で発表中の様子

今後の方向性

市場出荷（自分で値段が操作できない）が8割なので、自社でしっかりと販売ができる商品、仕組みを考えたいと思っています。

また、スマート農業など、環境データーを有効に利用し、持続可能性が高い農業を目指し、他業種と比較しても経営ができていく農業法人を目標に努力していきたいと思っています。

自身の紹介

4代続く農家の長男として1988年に（35歳）生まれました。初代はみかん農家でしたが、オレンジの自由化で価格が落ち、父の代で山を削り、圃場整備を行い、施設栽培を始めました。

苦境であっても、しっかりと経営している家業の姿をみたことで、私は高校、専門学校も農業専攻の学校に進学して、卒業後に家に帰って農家になりました。

最近の子供と地域の祭りや練習に参加するのが楽しいです。

同友会で学びたいこと・学んだこと

例会などを通して、考え方、経営者の心構え、従業員さんを大切に考える姿勢など、日々発見があります。皆さんが気さくに話しかけてくださり、楽しく活動を行っています。まだまだ、実力不足ではありますが、自社にしっかりと学んだことを持ち帰り、同友会の理念に沿えるような人格、会社を目指していきたいと考えています。これからもご指導よろしく願います。

（本人 記）

《芸南地区会く新会員紹介》

晃進工業 代表

岡野 雄太 氏の巻

岡野氏は1983年生まれの41歳。現在二人娘のお父さんです。



愛する娘さんとの2ショット

今年の1月に起業され、黒瀬町にある工場の一角を借り、そこで製缶業を営み、配管の溶接、製造に関わっておられます。

私と岡野氏は、地元の同級生で、小・中・高校を共に過ごしました。現在でも同じ趣味のゴルフやお酒を飲みに行ったりしております。長い付き合いなので、いろんな悩みも共有してきた仲。気を使うことなく話せる数少ない親友だと、私一方向的に思っております。

起業以前は大手企業の下請け会社に10年以上勤めており、そこで製缶の仕事をし、溶接の腕を磨いていました。そんな中、業種的に残業や休日出勤が多く、なかなか家族との

時間が取れない等をきっかけに、畑違いの漢方製造会社へ転職されました。家族との時間が取れるようになったものの、心の中では大好きな溶接、製缶業に戻りたいと思っていたように、時間を見つけては溶接のアルバイトに行っていたようです。

そんな中、何か溶接の仕事は無いかと飛び込み営業をして知り合った企業さんからの紹介もあり、現在の工場の一角を借りられ、一念発起をし、今年の初めに起業されました。

事業内容は製缶業で、鉄やステンレスなどの金属を切断や曲げ、溶接などの加工によって、架台や手すり、フレーム、タンクなど立体的な構造を持つ製品を製造する金属加工をされています。クレーンや船の部品、建物の骨組み、産業機械のベース・フレーム・架台、タンク・容器など、幅広く関わっていますが、特に配管の製造、溶接を得意とされ、完全溶け込み溶接のレントゲン溶接が出るのが強みだそうです。

そんな起業したての岡野氏は、経営の勉強と、付き合いを広げたいという事で同友会に入会され、さらには青年部にも入会されて頑張っておられます。将来は自社工場を持ち、配管の製造、溶接、施工までをする企業をつくりたいと目標を掲げておられます。「こんなもの作って」「溶接して直して」等ございましたら、是非お声掛けください。

（取材・文 ㈲カーシヨップサカモト 重森 恵介）